

第3回定例会

(10/10までに可決した議案など)

- 令和元年度一般会計補正予算
主に、次の内容で総額28億5,900万円を補正するものです。
 - ・アイヌ伝統文化振興費
 - ・消防団救助能力向上資機材緊急整備費
 - ・道路等災害復旧費
 - ・オリンピック・パラリンピック基金造成費
- 札幌市会計年度任用職員の給与等に関する条例案など、合計26件の議案などを可決しました。

委員会の主な活動状況

(9/11~10/10)

総務委員会
都心エネルギーアクションプラン(案)についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。(9/30)

財政市民委員会
札幌市文化財保存活用地域計画(案)について市民文化局から説明を受け、質疑を行いました。(9/30)

文教委員会
「札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例」に基づく平成30年度取組状況について子ども未来局から説明を受け、質疑を行いました。(9/30)

経済観光委員会
札幌もいわ山ロープウェイの事故について経済観光局から説明を受け、質疑を行いました。(9/30)

総合交通政策調査特別委員会
北海道新幹線についておよび丘珠空港の利活用検討についてまちづくり政策局から説明を受け、質疑を行いました。また、「北海道新幹線札幌トンネル工事に伴う要対策士の受け入れ候補地に関する陳情」の初審査を行い継続審査としました。(9/18)

第一部・第二部決算特別委員会
副委員長の互選、理事制の設置、審査日程などを決定しました。(9/26)
平成30年度の決算を審査しました。(10/3、10/7、10/9)

■編集 札幌市議会事務局
政策調査課
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページ
www.city.sapporo.jp/gikai

真駒内駅前地区のまちづくり

みかみ りでひこ
三神 英彦
自由民主党



真駒内駅前地区まちづくり計画について、今後検討が進み、より具体的な段階では、これまで以上に地域の意見にしっかりと耳を傾けた上で、より良い計画としていく必要があると考えますが、いかがですか。

検討を進める中でいただいたさまざまな意見により、地域の関心が非常に高いことを改めて実感しています。このため、地域の方と一層議論を深め、合意形成を図っていくことが重要であることから、検討期間を当初より1年延ばし、来年度末までに計画を取りまとめます。



高齢者の安全運転に向けた支援

うるしはら 直子
民主市民連合



通勤や仕事、買い物、通院など、日常生活に車が不可欠な高齢者は、今後さらに増えていくと考えられます。高齢者が事故を起こさず安全に運転できるよう、どのように支援に取り組んでいくつもりですか。

事故の防止には、高齢ドライバーが自ら身体などの変化を自覚し、現在の技量に応じた運転を心掛けることが重要です。国が検討を進める高齢者向けの新たな免許制度の創設などの動向を注視していくとともに、まずは、運転に伴うリスクや専門の相談窓口などについて一層の周知を図っていきます。



障がいのある子どもへの教育支援について、今後、どのように取り組んでいきますか。

個々の子どもに応じた教育支援計画の作成と活用の意義について理解を深めるため、新たに学校管理職を対象に研修を実施するとともに、リーフレットの作成などにより全教職員への啓発を図ります。また、ICT機器を活用するなど、どの学校でも必要な支援が受けられるよう、体制の充実に努めます。



地域が望む除排雪と旧白石区役所跡地の利活用

さとう あや
佐藤 綾
日本共産党



地域が望む除排雪を行うため、パートナーシップ排雪制度の予算を拡大し、地域の負担を軽減すべきだと考えますが、いかがですか。

予算の拡大については、市の負担割合を増加させるだけではなく、制度を利用してない地域との均衡など、さまざまな課題があるため、今後も慎重な議論が必要と考えています。



旧白石区役所跡地の利活用に当たっては、住民の要望や立地の優位性などを考慮し、引きこもりなどで悩む若者への支援などを行う若者活動センターと第二児童相談所を併設した複合施設を設置することが大変有益であると考えますが、いかがですか。

旧白石区役所跡地については、区の拠点として公的利用がされてきたことなどを踏まえながら、地域の活性化への貢献やこの土地が持つ価値の発揮などのさまざまな視点から、引き続き利活用に向けた検討を進めます。

高齢化する引きこもりへの対策と篠路駅周辺地区のまちづくり

はやし せいじ
林 清治
民主市民連合



高齢化する引きこもり対策については、中高年層を含む全世代の当事者やその親が抱える複合的な課題に対応するため、所管部局の在り方など実施体制を検討していく必要があると考えますが、いかがですか。

昨年度の調査で、当事者は幅広い年齢層に存在すること、引きこもりの要因や支援のニーズは多様であること、当事者だけでなく家族への支援を求める声が多いことなどが分かりました。そこで、中高年層を含む当事者やその家族が抱える複合的な課題に対応するため、より幅広い分野での包括的な支援が必要だと考えています。他都市の状況なども参考にしながら、事業の所管の在り方を含め、より効果的な支援体制を検討していきます。

篠路駅周辺地区については、地域住民の声や、民間事業者の意向を把握しながら、共にまちをつくり上げていくことが重要と考えます。今後、篠路駅周辺のまちづくりはどのように進めていくつもりですか。

篠路駅周辺地区については、北区北部の地域交流拠点として、鉄道高架や土地区画整理などの事業を進めるとともに、駅周辺における利便性の向上や多様な機能の集積を図るため、民間事業者の意向を把握しながら、連携してまちづくりに取り組んでいきます。今後は、まちづくり計画の策定に向け、住民の参加機会の充実を図りながら、地域主体で持続可能な活力あるまちづくりを進めていきます。



適切な歯科保健医療の提供と障がいのある子どもへの教育支援

よしい ななみ
好井 七海
公明党



適切な歯科保健医療を市民に提供するため、急速な高齢化や社会の動きをどのように捉え、どのような取り組みを行っていくつもりですか。

高齢化の進展に伴い、歯と口腔の健康はますます重要になると認識しています。健康寿命の延伸を図る上でも、歯と口腔のケアや定期健診の普及が重要であると考えています。「札幌市生涯歯科口腔保健推進計画」では、「かかりつけ歯科医の普及」などを重点施策としており、今後も生涯にわたる歯科保健対策を一層推進していきます。

市議会の動き

9月17日に招集された第3回定例会の中から、9月24日、25日、26日の代表質問の主な内容や、10月10日までに可決した議案などについてお知らせします。

地域における防災力の向上と少人数学級の拡大

なかがわ けんいち
中川 賢一
自由民主党



災害から命や生活を守るためには、個々の住民の備えといった「自助」を強めるとともに、地域コミュニティでの「共助」により地域の防災力を向上させることが重要です。今後、地域防災力を高めていくために、行政としてどのような取り組みを進めていくつもりですか。

自助、共助のさらなる充実のため、行政による一層の支援が重要だと認識しています。地域による地区防災計画づくりや防災訓練への支援など、防災意識の醸成と人材の育成に努め、地域防災力の向上を図っていきます。

小学校第1学年、第2学年および中学校第1学年で実施している35人以下の少人数学級について、他学年にも拡大し、新学習指導要領の趣旨に合った指導を充実していくべきだと考えますが、いかがですか。

少人数学級は、きめ細かな指導を行う上で有効であり、生活面と学習面のどちらにも効果的であると認識しています。また、新学習指導要領で掲げられている「主体的・対話的で深い学び」の実現には、自ら疑問や課題を持ち主体的に解決する、課題探究的な学習を一層推進する必要があると考えています。そのため、一人一人の子どもに応じた指導のさらなる充実に向け、新たに小学校第3学年と第4学年での35人学級の実施について検討していきます。

